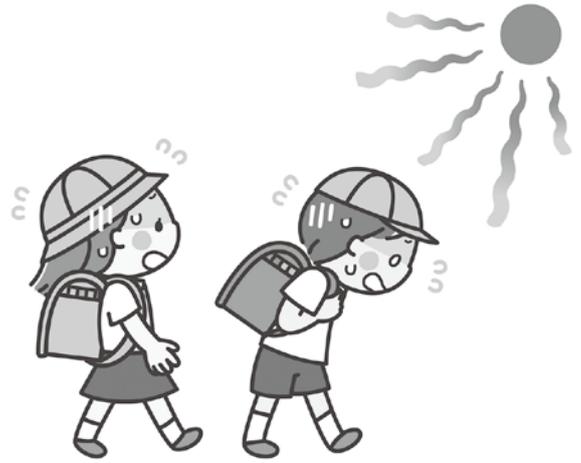


# 町政を問う!



町の未来像を血の通った言葉で



子どもたちの安全を第一に!

第3次総合計画において、町長はどのような方針、未来像を描くのかを問う。現実に進む人口減少の中で町をどう存続させるの



むら た ゆきのぶ 村田 行信 議員

## 総合計画策定へ向け、自身の言葉で目標を 私が目指すものは香美町という自治体の存続



か。策定プロセスにおいて町長が重視する点と、その思いを町民に分かる言葉で示されたい。

**町長** 私の目標です。

今度の総合計画の策定にも大きく関わることで、人口減少はもう本当に避けられない時代が来ると考えています。日本全体、都市部でも人

口が減る中で、私が目指すものは香美町という自治体の存続です。人口が減少しても、住民が自分の町に誇りを持つようにし、現行の産業規模を守る仕組みづくりに全力を尽くします。総合計画は法的義務ではありませんが、10年後の香美町の姿を町民と共有

暑さ対応と通学通園の支援について伺う。**教育長** 子どもたちの登校時の熱中症対策・学校園内における対策や保護者・



にしだに ひさし 西谷 尚 議員

## 身体の虚弱子を守る通学通園支援の課題 保護者と連携を図り対応します



地域との連携した取組や情報共有は出来ています。身体の弱い子どもの対応については、基礎疾患のある子どもは、学校で個々に対応が行われています。登下校時に関しては、保護者と十分な連携を図りながらの対応に重点を置いています。学校には保護者としてよく相談をして1番いい

方法を選択するよう伝えられています。もしスクールバスが必要であれば、特別に認める事も十分考えています。

保護者が相談に行ったら、学校の対応は「教育委員会に言ってくれ」教育委員会には「学校に相談して欲しい」とたらい回し状態。落胆されていた。教育の現

場でこの様なことは許されない。**教育長** 言われる通りだと思っております。教育委員会から学校の方に十分話をするように指示をしています。今後そのような事がないように進めていきたいと思っております。